

自然再生に関する情報掲載ホームページ

| <http://www.town.toyotomi.hokkaido.jp/>

| <http://sarobetsu.env.gr.jp/>

問合わせ先

上サロベツ自然再生協議会 運営事務局

特定非営利活動法人 サロベツ・エコ・ネットワーク	TEL.0162-82-3950 FAX.0162-82-3950
豊 富 町	TEL.0162-82-1001 FAX.0162-82-2806
北海道地方環境事務所	TEL.011-251-8703 FAX.011-219-7072
北海道開発局稚内開発建設部	TEL.0162-33-1000 FAX.0162-33-1046
北海道宗谷支庁稚内土木現業所	TEL.0162-33-2516 FAX.0162-32-3490

2007年 8月印刷

〔編集〕上サロベツ自然再生協議会 〔発行〕環境省北海道地方環境事務所



上サロベツ 自然再生 普及行動計画

平成19年5月
上サロベツ自然再生協議会

上サロベツ

自然
再生

普及行動計画

目次

- ① はじめに ————— 1
- ② 経緯 ————— 2
- ③ 行動計画の目的と基本的構成 — 3
 - 1) 目的
 - 2) 上サロベツ自然再生普及行動計画の役割
 - 3) 行動計画の構成
- ④ 自然再生普及活動推進の基本的考え方 ————— 4
 - 1) 自然再生普及活動の進め方
 - 2) 普及活動の実施のポイント
- ⑤ サロベツ文化づくりのための上サロベツにおける7つの行動 — 7
 - 1) サロベツを見つけよう
 - 2) サロベツの話をしよう
 - 3) サロベツを楽しもう
 - 4) サロベツのことをまとめよう
 - 5) サロベツを発信しよう
 - 6) サロベツの利用ルールを作ろう
 - 7) サロベツでつなげよう



1 はじめに

昭和49年の利尻礼文サロベツ国立公園指定の前後から、サロベツ湿原の環境保全に対する意識が地域においても徐々に高まり、昭和58年に、豊富町に自然環境教育の萌芽が見られました。この年、豊富町に住む有志により「豊富自然学校」が立ち上がり、以降20年以上にわたり、山菜採りやキャンプ活動といった自然体験活動とともに、サロベツ湿原での湿原観察がプログラムとして行われ、豊富の子ども達に向け、湿原のすばらしさ、大切さを伝え続けてきました。

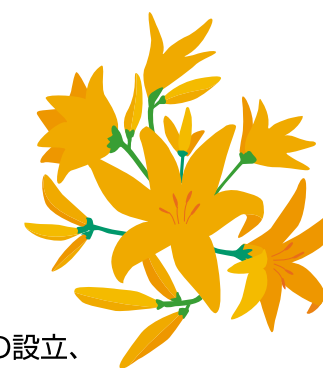
昭和59年には、豊富高校に郷土研究部が結成され、郷土である豊富町の自然と歴史、そして人々の生活などについて調べ、民話を収集するなどの活動が続けられてきました。そして、平成15年には豊富町にサロベツお宝鑑定団が発足し、大人も巻き込みながら、農業と自然が共生するサロベツ・豊富町の農業と開拓の歴史を語り継ぐ活動が行われてきています。

平成17年1月、「上サロベツ自然再生協議会」が立ち上がり、農業と湿原の共生について地域の多様な主体の参加による活動の場が開かれ、そして平成18年2月に策定された「上サロベツ自然再生全体構想」では、「湿原の保全」、「農業の振興」、「地域づくり」の3点が目標として掲げられ、自然再生を推進するため、地域住民等の参加、環境教育の視点、持続的な活動にする工夫などが必要な項目として示されました。

自然再生の目標達成に向け、地域の特性を生かした酪農を振興し、地域固有の生態系である湿原を保全し、地域の人々が中心になって賢く利用することで育まれるサロベツらしさ、いわば「サロベツ文化」を醸成しながら、地域を活性化していきたいと考えています。

については、これまでに行われてきた自然や文化に関する地域の活動を強化し、より多くの人に関心を持ってもらい、多様な主体の参加により活動を広げていくための一つの手引きとして行動計画を定めます。

2 経緯



- 平成15年1月1日
自然再生推進法施行
- 平成17年1月19日
上サロベツ自然再生協議会の設立、
自然再生普及部会の設置
- 平成18年2月2日
第1回自然再生普及部会の開催
● 座長・座長代理の選出
- 平成18年5月22日
第2回自然再生普及部会の開催
● 再生普及部会の進め方
● 上サロベツ及び周辺の普及活動の発表
- 平成18年11月27日
第3回自然再生普及部会の開催
● 「行動計画策定ワーキンググループ」の設置
● 上サロベツにおける普及活動について討議
- 平成19年1月18日
第1回行動計画策定ワーキンググループ
● 活動づくり、情報発信について意見交換
- 平成19年1月25日
第2回行動計画策定ワーキンググループ
● 人材育成、ルールづくりについて意見交換
- 平成19年2月9日
第3回行動計画策定ワーキンググループ
● 自然再生普及行動計画骨子の検討
- 平成19年2月20日
第4回自然再生普及部会の開催
● 自然再生普及行動計画骨子の討議
- 平成19年3月19日
第4回行動計画策定ワーキンググループ
● 自然再生普及行動計画の修正作業
- 平成19年5月17日
第7回自然再生協議会
● 自然再生普及行動計画の策定

、「地域づくり」の目
を促進させることを

計画の役割

2 上サロベツ自然再生普及行動計画の役割

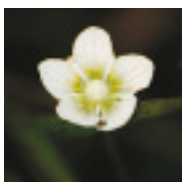
自然再生協議会は環境教育と住民参加を促進するため、次の3点の支援を通じて、自然再生普及活動の基盤強化を図っていきます。

- ### 3 行動計画の構成

上サロベツ自然再生普及行動計画は、「自然再生普及活動推進の基本的考え方」と、「サロベツ文化づくりのための上サロベツにおける7つの行動」から構成されます。

自然再生普及活動推進の基本的考え方

- ## サロベツ文化づくりのための上サロベツにおける7つの行動



```
graph TD; 1[1] --> 2[2]; 2 --> 3[3]; 3 --> 4[4]; 4 --> 5[5]; 5 --> 6[6]; 6 --> 7[7]; 7 --> 8[8]; 8 --> 1;
```

- 1 「湿原の保全」と「農業の振興」から「地域づくり」を行うための活動案として、「普及活動の実施のポイント」をもとに、「サロベツ文化づくりのための上サロベツにおける7つの行動」を定めます。
- 2 上サロベツ自然再生の普及活動を推進するため、再生普及部会に、活動の企画調整、支援を行う「普及活動支援ワーキンググループ」を設置します。
- 3 再生普及部会および普及活動支援ワーキンググループで、活動案を検討し、且つ活動メニューの公募を行い、活動メニューリストを作成します。（この際に協議会に参加していない個人・団体の活動についても、自然再生普及活動に則した活動については、再生普及部会から協力要請・勧誘を行います。）
- 4 活動メニュー毎に参加者・協力者を募り、各々活動グループを組織し、グループワークによる企画の検討や活動・運営を行います。
- 5 普及活動支援ワーキンググループは、活動グループに対し、活動への助言や情報提供、広域広報等の活動支援を行います。
- 6 実施された活動について、各グループは普及活動支援ワーキンググループに報告を行い、普及活動支援ワーキンググループは活動結果をとりまとめます。
- 7 活動の実施状況、活動報告の評価を再生普及部会で行い、その結果をもとに再生普及部会および普及活動支援ワーキンググループは、次期の活動案具体化検討作業を行います。
- 8 「自然再生普及活動の進め方」、「サロベツ文化づくりのための上サロベツにおける7つの行動」については、5ヶ年を目安に評価し、見直しを行います。

```
graph TD
    subgraph "自然再生協議会"
        A[行動計画策定]
        D[5年目安行動計画改訂]
    end
    subgraph "再生普及部会"
        B["1月  
活動メニューリストの作成  
活動参加者募集案内"]
        E["12月  
実施活動の評価"]
    end
    subgraph "普及活動支援WG"
        C["活動サポート  
助言  
情報提供  
広域広報"]
        F["活動のとりまとめ"]
    end
    subgraph "実施者・参加者"
        G["活動メニューの公募  
活動参加者の公募  
活動グループ組織化"]
        H["活動運営  
企画検討  
活動広報  
活動実施  
結果とりまとめ"]
        I[活動報告]
    end
    A --> B
    B --> C
    C --> H
    H --> F
    F --> E
    E --> D
    D -- 適宜報告 --> A
    G --> B
    H --> F
    I --> F
```


2 普及活動の実施のポイント

サロベツやその周辺では、自然や農業・地域文化を対象とした活動が既に始められているものもあります。また、活動の機会を待っている、まだ実施したことのない楽しいアイデアもあることでしょう。

普及活動支援ワーキンググループでの活動メニューづくりや、活動グループが自ら企画・実行していく上で、自然再生普及活動が活性化するための重要なポイントをまとめました。

まずは始めてみよう 企画検討に際して

自然再生普及活動を始める4つのポイント

POINT

1 「知ること」から始めよう

サロベツ原野にはどんな花が咲くのだろうか？豊富な牛乳はどうしておいしいんだろう？地元の自然や文化を知ること、地域の魅力の発見につなげましょう。素朴な疑問を大切に、また地域を知ることにより課題を明確にしましょう。



POINT

2 「地元」から始めよう

地域づくりは、そこに住む人、その土地を愛する人により行われます。まずは地元から始めてみましょう。

POINT

3 「楽しいこと」から始めよう

楽しくなければ始まらない、楽しくなければ続かない。楽しい企画、楽しめる企画をサロベツから発信しましょう。

POINT

4 「つなげること」から始めよう

3人寄れば文珠の知恵。「楽しい」を共感し、一緒に語れるグループを作りましょう。人と人、団体と団体をつなげることから始めましょう。

高め合いながら続けよう 活動実施に際して

自然再生普及活動を成長させる4つのポイント

POINT

1 企画アイデアを練ろう

グループワークでこれまで行われてきた活動を発展させるアイデアを持ち寄り企画しましょう。「広報・情報の視点」、「利用ルールの視点」にも気を配りましょう。

POINT

2 積極的に実行しよう

自ら実行すること、体験することは、活動の理解を深めることにつながります。小さな活動からでもまず実行してみましょう。

POINT

3 活動結果をまとめよう

どんな結果が得られたか、活動したことを改めて振り返ってみましょう。どんな課題が得られたかまとめましょう。

POINT

4 活動を発展させながら継続しよう

課題は前向きに検討しつつ、また新たなアイデアを持ち寄りつつ地道に続けていきましょう。



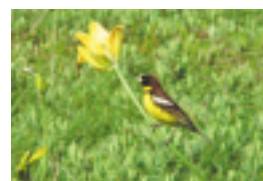
5 サロベツ文化づくりのための 上サロベツにおける7つの行動

前述の普及活動実施のポイントと、再生普及部会及び行動計画策定ワーキンググループでの議論をもとに、これから自然再生普及活動を進めていくにあたっての具体的な取り組みの手がかりとなるものを「サロベツ文化づくりのための上サロベツにおける7つの行動」として整理しています。

1 サロベツを見つけよう

(1)-1 地域の自然について調べよう・見つけよう

- サロベツ湿原の仕組みを調べよう
- サロベツに流れる川を調べよう
- サロベツに息づく生き物を調べよう
- サロベツの景色を調べよう
(自然風景、農業風景、陸から、川から、空から)



(1)-2 地域の文化・歴史について調べよう

- 地元の人の視点でサロベツを見つけよう
- サロベツの美味しいものを見つけよう
- サロベツの癒し・健康効果を見つけよう
- 歴史を調べよう
- 古い写真を集めよう

2 サロベツの話をしよう

- 町の古老と話そう
- 町の子供達と話そう
- サロベツを訪れる旅人と話そう



3 サロベツを楽しもう

- 自然観察会を開こう
- 自転車で楽しもう
- カヌーで楽しもう
- フットパスルートを歩こう
- ホーストレッキングを楽しもう
- 湿原植物を育てよう
- 湿原植物を食べよう
- サロベツを楽しむルートで遊ぼう
- 地場産のソフトクリームを食べよう、牛乳を飲もう
- サロベツの四季を楽しもう
- サロベツの香りを楽しもう
- サロベツをきれいにしよう



4 サロベツのことをまとめよう

- サロベツ紹介パンフレットを作ろう
- サロベツの教材や副読本をつくろう
- サロベツガイド専用マニュアルを作ろう
- バスガイドさん用サロベツマニュアルを作ろう
- 解説板を作ろう
- 兜沼公園や豊富温泉など近くの楽しいもの、面白いことをまとめよう



5 サロベツを発信しよう

- 高層湿原をPRしよう
- ホームページを活用しよう
- 新聞、ラジオなどメディアを活用しよう
- 掲示板で発表しよう



6 サロベツの利用ルールを作ろう

- 利用の条件を考えよう
- 活用の場の条件を考えよう
- サロベツカントリーコードを作ろう
- ルールを運用する仕組みを考えよう



7 サロベツでつながよう

- 親子で参加しよう
- 町のおじいちゃん、おばあちゃんと参加しよう
- 農業青年と活動しよう
- 町民同士で定期的な話し合いの機会を持とう
- サロベツで多くの人と会おう
- サロベツガイド(自然、文化、地域、活動)を育成しよう
- 環境教育指導者を育成しよう
- 講習会、講演会を開こう



これらをヒントに、多様な主体の参加によって、地元からサロベツらしい様々な活動が生まれ育っていくことを期待しています。